

2001 年度 工学部都市環境システム学科 B コース 授業科目一覧表

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
TJ001001	都市環境システムセミナー	2.0	1 年前期火曜 7 限	全教官	都 B 3
TJ004001	都市環境システム学外演習	2.0	1 年通期集中	(加藤 泰)	都 B 3
TJ005001	プロジェクト研究 I	2.0	1 年通期集中	全教官	都 B 3
TJ006001	都市環境基礎演習 I	2.0	1 年後期土曜 3 限	(橋本 (山添) 文隆) 他	都 B 4
TJ008001	プログラミング言語	2.0	2 年前期月曜 7 限	(東 雄二)	都 B 4
TJ008002	プログラミング言語	2.0	2 年前期月曜 7 限	(吉野 進也)	都 B 4
TJ009001	プログラミング演習	2.0	2 年前期火曜 7 限	(東 雄二)	都 B 5
TJ009002	プログラミング演習	2.0	2 年前期火曜 7 限	(吉野 進也)	都 B 5
TJ010001	ネットワーク基礎 I	2.0	2 年前期木曜 6 限	須貝 康雄	都 B 5
TJ011001	都市情報計画 I	2.0	2 年前期水曜 6 限	柘植 喜治	都 B 6
TJ012001	都市環境共生 I	2.0	2 年前期月曜 6 限	青柳 象平	都 B 6
TJ013001	都市環境基礎演習 II	2.0	2 年前期土曜 3 限	(井坂 幸恵)	都 B 6
TJ013002	都市環境基礎演習 II	2.0	2 年前期土曜 2 限	上杉 英樹	都 B 7
TJ014001	メディアプランニング演習 I	2.0	2 年前期水曜 7 限	全教官	都 B 7
TJ015001	専門英語 I	2.0	2 年前期木曜 7 限	柘植 喜治	都 B 7
TJ015002	専門英語 I	2.0	2 年前期木曜 7 限	池田 宏明 ^他	都 B 8
TJ016001	専門英語 II	2.0	2 年後期月曜 6 限	(JOHN F. LEAVER) ^他	都 B 8
TJ016002	専門英語 II	2.0	2 年後期月曜 6 限	(Sandra Leishman)	都 B 8
TJ017001	ネットワーク基礎 II	2.0	2 年後期火曜 7 限	池田 宏明	都 B 9
TJ018001	情報システム I	2.0	2 年後期木曜 6 限	深澤 敦司	都 B 9
TJ019001	信頼性システム設計 I	2.0	2 年後期月曜 7 限	町田 進 ^他	都 B 9
TJ020001	都市環境デザイン I	2.0	2 年後期水曜 6 限	北原 理雄	都 B 10
TJ020101	都市環境デザイン	2.0	2 年後期水曜 6 限	北原 理雄	都 B 10
TJ021001	都市居住計画	2.0	2 年後期水曜 7 限	延藤 安弘	都 B 11
TJ022001	都市防災科学	2.0	2 年後期木曜 7 限	中井 正一	都 B 11
TJ023001	都市情報計画 II	2.0	2 年後期木曜 6 限	柘植 喜治	都 B 12
TJ024001	都市環境共生 II	2.0	2 年後期火曜 7 限	田中 恒雄	都 B 12
TJ025001	環境プランニング演習 I	2.0	2 年後期土曜 4 限	(松畑 強) ^他	都 B 13
TJ026001	メディアプランニング演習 II	2.0	2 年後期水曜 7 限	大坪 泰文	都 B 13
TJ026002	メディアプランニング演習 II	2.0	後期水曜 7 限	深澤 敦司	都 B 13
TJ026003	メディアプランニング演習 II	2.0	後期水曜 7 限	前野 一夫	都 B 14
TJ027001	プロジェクト研究 II	2.0	2 年通期集中	全教官	都 B 14
TJ028001	建築計画	2.0	3 年前期月曜 6 限 2 期	柳澤 要	都 B 14
TJ029001	建築材料	2.0	3 年前期金曜 6 限	近藤 吾郎	都 B 15
TJ030001	建築一般構造	2.0	3 年前期水曜 7 限	(清水 敬三)	都 B 15
TJ032001	都市計画マネジメント I	2.0	3 年前期月曜 7 限 1 期	(林 泰義)	都 B 16
TJ035001	建築材料実験	2.0	3 年前期火曜 6,7 限	(岡本 晴彦)	都 B 16
TJ036001	情報システム II	2.0	3 年前期木曜 6 限	深澤 敦司	都 B 16
TJ037001	信頼性システム設計 II	2.0	3 年前期木曜 7 限	町田 進	都 B 17
TJ038001	都市環境エネルギー論 I	2.0	3 年前期水曜 7 限	前野 一夫	都 B 17
TJ039001	通信環境システム I	2.0	3 年前期金曜 6 限	伊藤 公一	都 B 18
TJ040001	環境プランニング演習 II	2.0	3 年前期土曜 3 限	(中谷 正人)	都 B 18
TJ041001	メディアプランニング演習 III	2.0	3 年前期土曜 3 限	大坪 泰文	都 B 18
TJ042001	都市環境システム特別セミナー I	2.0	3 年前期集中	全教官	都 B 19
TJ043001	都市環境システム実習	2.0	3 年通期集中	全教官	都 B 19
TJ044001	プロジェクト研究 III	2.0	3 年通期集中	全教官	都 B 19
TJ045001	構造力学	2.0	2 年前期木曜 6 限	(市原 嗣久)	都 B 20
TJ045002	構造力学	2.0	2 年前期土曜 1 限	上杉 英樹	都 B 20
TJ046001	建築施工	2.0	3 年後期火曜 6 限	(岩崎 由之)	都 B 20

2001 年度 工学部都市環境システム学科 B コース シラバス

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
TJ047001	建築法規・行政	2.0	3 年後期火曜 7 限	(松柴 慎吾)	都 B 21
TJ049001	都市計画マネジメント II	2.0	3 年後期金曜 7 限	宮脇 勝	都 B 21
TJ050001	コミュニティエンジニアリング II	2.0	3 年後期土曜 4 限	(小宮 一仁)	都 B 29
TJ051001	都市環境エネルギー論 II	2.0	3 年後期水曜 6 限	前野 一夫	都 B 22
TJ052001	通信環境システム II	2.0	3 年後期金曜 6 限	吉村 博幸	都 B 22
TJ053001	環境基礎解析 I	2.0	3 年後期木曜 7 限	河原田 秀夫	都 B 23
TJ054001	生産再生設計論 I	2.0	3 年後期木曜 6 限	大坪 泰文	都 B 23
TJ055001	環境プランニング演習 III	2.0	3 年後期土曜 2 限	(中村 研一)	都 B 23
TJ056001	メディアプランニング演習 IV	2.0	3 年後期土曜 1 限	(小川 晃一)	都 B 24
TJ056002	メディアプランニング演習 IV	2.0	後期土曜 4 限	(小川 晃一)	都 B 24
TJ056003	メディアプランニング演習 IV	2.0	後期木曜 5 限	(塩島 壯夫)	都 B 24
TJ056004	メディアプランニング演習 IV	2.0	後期月曜 7 限	(神谷 清)	都 B 25
TJ057001	建築設備	2.0	4 年前期金曜 6,7 限隔週 1,3	(石渡 博)	都 B 25
TJ058001	環境工学	2.0	4 年前期金曜 6,7 限隔週 2,4	(足永 康信)	都 B 25
TJ059001	建築経済	2.0	4 年前期月曜 7 限 2 期	(大木 昌彦)	都 B 26
TJ060001	システム評価	2.0	3 年後期月曜 7 限	塩田 茂雄	都 B 26
TJ062001	生産再生設計論 II	2.0	4 年前期水曜 7 限	大坪 泰文	都 B 27
TJ063001	都市環境マネジメント I	2.0	4 年前期木曜 7 限	(田宮 稔士)	都 B 27
TJ064001	都市環境システム特別セミナー II	2.0	4 年前期集中	全教官	都 B 27
TJ065001	特別研究	6.0	4 年通期集中	全教官	都 B 28
TJ067001	地域環境デザイン	2.0	3 年前期金曜 7 限	三国 政勝	都 B 28
TJ068001	都市建築デザイン	2.0	3 年前期木曜 6 限	宇野 求	都 B 29
TJ050001	コミュニティエンジニアリング II	2.0	3 年後期土曜 4 限	(小宮 一仁)	都 B 29

授業科目名 : 都市環境システムセミナー
 科目英訳名 : Seminar: Introduction to Urban Environment Systems
 担当教官 : 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T25F

開講時限等: 1 年前期火曜 7 限
 講義室 : 工 17 号棟 113 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

[講義目的] 都市環境システムの学問を学ぶ人達を対象に、環境プランニングコースやメディアプランニングコースの双方の学問のみならず、広い範囲の学問について、勉学の方法や態度、問題意識や関心の持ち方などについて、学びつつ考察して行く。

[講義内容]

授業科目名 : 都市環境システム学外演習
 科目英訳名 : Field Seminar in Urban Environment Systems
 担当教官 : (加藤 泰)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T260

開講時限等: 1 年通期集中
 講義室 : 未定 (工学部)

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築コース		専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 「まち」のモノの面を中心として、モノを使いこなしている面も含めて「まち」を観る視点を修得する。

[講義内容] 歴史的に長い変遷を経てきている「まち」、新しくつくられた「まち」などの居住施設、商業施設、産業施設などの親しみのある施設を対象とし、更に都市景観も含めて、具体的な「まち」を観る事により「まち」を読み取る。対象としては千葉県、東京都内より選定する。進め方としては「まち」に関する講義と、後日の学外演習 = 「まち」を観ることとする。

[備考] 演習結果についてのレポートを提出するものとする。

授業科目名 : プロジェクト研究 I
 科目英訳名 : Project Study I
 担当教官 : 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T261

開講時限等: 1 年通期集中
 講義室 :

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 社会人学生が、社会生活の中で遭遇した各種の課題について、個人またはグループによる研究や討論を行う。

[講義内容] 年度始めのガイダンス及び掲示にて具体的内容を指示。

授業科目名 : 都市環境基礎演習 I
 科目英訳名 : Basic Design of Urban Environment I
 担当教官 : (橋本 (山添) 文隆), (太田 浩史), 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T262
 開講時限等: 1 年後期土曜 3 限
 講義室 : 工 17 号棟 215 教室, 未定 (工学部)

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース		専門選択 (F30)		
TJ:都市環境システムB	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 都市環境の課題について建築的 / 都市デザインあるいはエンジニアリングの発想を育て、構想し、まとめあげていく方法を学ぶためのレクチャーと基礎的トレーニングを行う。

[講義内容] 課題内容によってデザインクラス、総合クラス、エンジニアリングクラスにわかれて演習をすすめる。

授業科目名 : プログラミング言語
 科目英訳名 : Computer Programming Languages
 担当教官 : (東 雄二)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T263
 開講時限等: 2 年前期月曜 7 限
 講義室 : メディア基盤センター実習室 1

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 電子計算機に所定の機能を発揮させるための一連の手続きをあらかじめ指定するためのプログラミング言語の考え方について概観し、具体的なプログラミング言語として C 言語を取り上げ、その仕様と文法を教授する。

[講義内容]

授業科目名 : プログラミング言語
 科目英訳名 : Computer Programming Languages
 担当教官 : (吉野 進也)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T264
 開講時限等: 2 年前期月曜 7 限
 講義室 : メディア基盤センター実習室 2

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 電子計算機に所定の機能を発揮させるための一連の手続きをあらかじめ指定するためのプログラミング言語の考え方について概観し、具体的なプログラミング言語として C 言語を取り上げ、その仕様と文法を教授する。

[講義内容]

授業科目名 : プログラミング演習
 科目英訳名 : Computer Programming Practice
 担当教官 : (東 雄二)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T265

開講時限等: 2 年前期火曜 7 限
 講義室 : メディア基盤センター実習室 1

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] プログラミング言語は人工言語であるが、自然言語と同様に実際に使用しないと身につかない。この観点から C 言語の仕様・文法の修得に併せて、具体的な問題を設定してそれに対するプログラミングを実習する。

[講義内容]

[履修条件] 「情報処理」を履修しておくこと。なお、「プログラミング言語」を並列受講すること。

授業科目名 : プログラミング演習
 科目英訳名 : Computer Programming Practice
 担当教官 : (吉野 進也)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T266

開講時限等: 2 年前期火曜 7 限
 講義室 : メディア基盤センター実習室 2

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] プログラミング言語は人工言語であるが、自然言語と同様に実際に使用しないと身につかない。この観点から C 言語の仕様・文法の修得に併せて、具体的な問題を設定してそれに対するプログラミングを実習する。

[講義内容]

[履修条件] 「情報処理」を履修しておくこと。なお、「プログラミング言語」を並列受講すること。

授業科目名 : ネットワーク基礎 I
 科目英訳名 : Network Fundamentals I
 担当教官 : 須貝 康雄
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T267

開講時限等: 2 年前期木曜 6 限
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] ネットワークの基礎として、グラフ理論を学ぶ。グラフの定義、平面グラフ、最短経路問題、最大フロー問題、線形計画問題、組合せ問題等について具体例と共に解説する。

[講義内容]

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 未定

授業科目名 : 都市情報計画 I
 科目英訳名 : Urban Environment Produce I
 担当教官 : 柘植 喜治
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T268

開講時限等: 2 年前期水曜 6 限
 講義室 : 工 2 号棟 102 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 私たちは、都市環境のなかで遭遇するさまざまな事象や刺激を選択的に受容しながら、それぞれの生活を送っています。この授業では、それらの事象や刺激を情報という概念で把握し、安全で快適な都市生活環境における情報のあり方、そのデザイン手法について、具体的事例を紹介しながら、考察します。

[講義内容] 第 1 回 都市の情報とは、第 2 回 都市を体験する、第 3 回 都市を感じる（見る、嗅ぐ、味わう、聞く、触る）、第 4 回 都市を記憶する、第 5 回 都市を観察する、第 6 回 都市を調べる、第 7 回 都市を表す、第 8 回 都市の価値をみつける、第 9 回 都市に溢れる、第 10 回 都市で見せる・隠す、第 11 回 都市で演じる、第 12 回 都市を動かす、第 13 回 都市を楽しむ、第 14 回 都市をプロデュースする、第 15 回 まとめ・小論文

[履修条件] 特になし

授業科目名 : 都市環境共生 I
 科目英訳名 : Eco-compatible Engineering I
 担当教官 : 青柳 象平
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T269

開講時限等: 2 年前期月曜 6 限
 講義室 : 工 17 号棟 211 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 人間の築く都市が自然環境と可能な限り調和・共存し、精神面を含む豊かな生活を支えるよう求められている。このことについて、主に生物の営みに着目して考える。

[講義内容]

[履修条件] 特になし

授業科目名 : 都市環境基礎演習 II
 科目英訳名 : Basic Design of Urban Environment II
 担当教官 : (井坂 幸恵)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T26A

開講時限等: 2 年前期土曜 3 限
 講義室 : 未定 (工学部)

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築コース		専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 都市環境基礎演習にひき続き、建築 / 都市デザインあるいはエンジニアリングについて構想、企画し、計画を定め、環境として総合的にまとめあげていく方法を学ぶためのレクチャーと基礎的トレーニングを行う。

[講義内容] 課題内容によってデザインクラス、総合クラス、エンジニアリングクラスにわかれて演習をすすめる。

授業科目名 : 都市環境基礎演習 II
 科目英訳名 : Basic Design of Urban Environment II
 担当教官 : 上杉 英樹
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C4

開講時限等: 2 年前期土曜 2 限
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース		専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 都市環境基礎演習にひき続き、建築/都市デザインあるいはエンジニアリングについて構想、企画し、計画を定め、環境として総合的にまとめあげていく方法を学ぶためのレクチャーと基礎的トレーニングを行う。

[講義内容] 課題内容によってデザインクラス、総合クラス、エンジニアリングクラスにわかれて演習をすすめる。

授業科目名 : メディアプランニング演習 I
 科目英訳名 : Seminar for Media Planning I
 担当教官 : 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T26B

開講時限等: 2 年前期水曜 7 限
 講義室 : 工 17 号棟 214 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] メディアプランニングコースの学習において必要となる、各学問分野の基礎的なトレーニングを行う。10人程度の小人数クラスに分かれて、演習・実験などを行う。

[講義内容] 次の4つのテーマに分かれて演習する。1. メディア演習 2. 情報演習 3. 数理演習 4. 力学および材料力学基礎演習

[履修条件] メディアプランニングコースに属する学生のみが履修することを原則とするが、クラスの人数に余裕がある場合には、若干名に限って環境プランニングコースの学生も履修することができる。

授業科目名 : 専門英語 I
 科目英訳名 : English for Urban Environment Systems I
 担当教官 : 柘植 喜治
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T26C

開講時限等: 2 年前期木曜 7 限
 講義室 : 工 17 号棟 211 教室, 工 17 号棟 212 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)			
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 都市環境に関わる英文テキストの講読を通じて、専門的文章の読解力と表現力を養い、併せて国際的な視野で都市環境問題を考える理解力を育てる。

[講義内容] 担当教官の指示に従い講義内容決定。

[履修条件] 環境プランニングコース、メディアプランニングコースでそれぞれ2クラスずつ開講されるので、所属するコース内の1クラスを選択して受講すること。

授業科目名 : 専門英語 I
 科目英訳名 : English for Urban Environment Systems I
 担当教官 : 池田 宏明, 腰越 秀之, 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T26D

開講時限等: 2 年前期木曜 7 限
 講義室 : 工 17 号棟 113 教室, 工 17 号棟 215 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザインA 建築コース	専門選択 (F30)			
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 都市環境に関わる英文テキストの講読を通じて、専門的文章の読解力と表現力を養い、併せて国際的な視野で都市環境問題を考える理解力を育てる。

[講義内容] 担当教官の指示に従い講義内容決定。

[履修条件] 環境プランニングコース、メディアプランニングコースでそれぞれ2クラスずつ開講されるので、所属するコース内の1クラスを選択して受講すること。

授業科目名 : 専門英語 II
 科目英訳名 : English for Urban Environment Systems II
 担当教官 : (JOHNF.LEAVERIII)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T26E

開講時限等: 2 年後期月曜 6 限
 講義室 : 工 17 号棟 211 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 専門英語 I に引き続き、都市環境に関わる英文テキストを講読し、より高度な読解力、表現力、理解力を育てる。

[講義内容] 第一回目にクラス分けを行う。非常勤講師 Jack Leaver 先生の指示により教材決定。

授業科目名 : 専門英語 II
 科目英訳名 : English for Urban Environment Systems II
 担当教官 : (Sandra Leishman)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T26F

開講時限等: 2 年後期月曜 6 限
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 専門英語 I に引き続き、都市環境に関わる英文テキストを講読し、より高度な読解力、表現力、理解力を育てる。

[講義内容] 第一回目にクラス分けを行う。非常勤講師 Jack Leaver 先生の指示により教材決定。

授業科目名 : ネットワーク基礎 II
 科目英訳名 : Network Fundamentals II
 担当教官 : 池田 宏明
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T270

開講時限等: 2 年後期火曜 7 限
 講義室 : 工 17 号棟 214 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境システム A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 本講では、電子計算機とデジタル回線が網目のように接続されて構成されている大規模通信ネットワークである「インターネット」について、ネットワークを機能させている TCP/IP の基礎と TCP/IP の応用について学ぶ。具体的には、ネットワーク及び TCP/IP の基礎知識、データリンク、インターネットプロトコル (IP)、TCP と UDP、経路制御プロトコル、アプリケーションプロトコル、物理層・伝送メディアなどについて学習する。

[講義内容]

[履修条件] 教科書 ; 竹下、村山、荒井、苅田 : マスタリング TCP/IP、入門編 (第 2 版)、オーム社

授業科目名 : 情報システム I
 科目英訳名 : Information Systems I
 担当教官 : 深澤 敦司
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T271

開講時限等: 2 年後期木曜 6 限
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 情報、通信工学の発展の経緯を概観し、基礎としてシャノンの情報理論、ウイーナのマッチドフィルタ理論の概要を学び、情報の捉え方の基本を理解することを目的とする。さらに情報、通信システムの概要についても解説する。

[講義内容]

[教科書・参考書] 特になし

授業科目名 : 信頼性システム設計 I
 科目英訳名 : Reliability Systems Design Engineering I
 担当教官 : 町田 進, 佐藤 建吉
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T272

開講時限等: 2 年後期月曜 7 限
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TA:機械 B	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		

[講義目的] 都市活動における機器・構造物・システムの信頼性と安全性確保を目的とするシステム設計のための基礎的理論と応用について講義する。

[講義内容] 主なトピックスとしては信頼性・信頼度の概念、信頼性工学と基礎数理、信頼性と故障のパターン (バスタブ曲線)、偶発故障と信頼性、システムの信頼 (直列系と並列冗長系)、信頼度関数、有効寿命、摩耗故障と信頼性、指数分布、ポアソン分布、ワイブル分布などである。

[履修条件] 統計学 B を履修していることが望ましい。

[教科書・参考書] 改定版「信頼性工学入門」真壁肇 編 (日本規格協会)

[備考] Excel を用いて、例題を取り扱う。

授業科目名 : 都市環境デザイン I
 科目英訳名 : Urban Environment Design
 担当教官 : 北原 理雄
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード:
 開講時限等: 2 年後期水曜 6 限
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 人びとの生活の場である都市環境を的確に読み解き、そのあるべき姿を構想する力を身につけてもらうことが、この講義の目的である。都市空間のさまざまな特性と社会との相関、それをなりたせている仕組みなどを、具体的な事例にもとづいて考察する。

[講義内容] 1. 建築と都市空間 (街並みをつくる建築, 都市の広場, 二つの都市空間, 見える秩序と見えない秩序)
 2. 住まいと都市空間 (日本の住まい, ヨーロッパの住まい, 街並みと住まい) 3. グリッド都市の空間 (日本のグリッド都市, ヨーロッパのグリッド都市, 現代のグリッド都市) 4. 広場と街路 (広場の伝統, 街路の文化, 人間のための都市空間) 5. 視覚空間と位相空間 (地形原理と幾何学原理, 城下町の空間, 生きられる場所)

[履修条件] 都市・地域計画 I (デザイン工学科) との重複受講はできない。

[教科書・参考書] S. E. ラスムッセン: 都市と建築, 東京大学出版会 (参考書) J. ゲール: 屋外生活の生活とデザイン, 鹿島出版会 (参考書)

[備考] レポートと出席を主体に成績評価を行う。水準に達しないレポートは再提出 (再度水準以下の場合不可)。

授業科目名 : 都市環境デザイン
 科目英訳名 : Urban Environment Design
 担当教官 : 北原 理雄
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T273
 開講時限等: 2 年後期水曜 6 限
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境システム A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築コース		専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的]

[講義内容]

授業科目名 : 都市居住計画
 科目英訳名 : Urban Housing
 担当教官 : 延藤 安弘
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T274

開講時限等: 2 年後期水曜 7 限
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境システム A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築コース		専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 集まって住むことが「わずらわしい」状況をこえて、「楽しい」集住のハ・ド（空間構成）とソフト（コミュニティ形成）の統合はいかにして可能かについて考え、実践への志を高めることが本講義のねらいである。〈生活の力〉と〈空間の力〉の相互浸透関係のデザインの内実を示す生きのよい事例の視覚的伝達とそれをもとにした対話的授業を目指す。

[講義内容] 講義計画：1. ハウジングとコミュニティ / 2. 近代化過程におけるハウジング概念と手法の成立 / 3. 住宅地計画における私・共・公の相互関係 / 4. サスティナブル・ハウジング / 5. パートナーシップ方式のハウジング / 6. 子どもの目線からの住まい・環境づくり / 7. 住み手参加のデザイン・プロセス / 8. 高齢社会における住環境 / 9. これからの都市居住計画の展望

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 延藤安弘：「集まって住むことは楽しいナ 住宅でまちをつくる」鹿島出版会（教科書）
 「これからの集合住宅づくり」晶文社（参考書）

授業科目名 : 都市防災科学
 科目英訳名 : Disaster Prevention in Urban Environment
 担当教官 : 中井 正一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T275

開講時限等: 2 年後期木曜 7 限
 講義室 : 工 17 号棟 213 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境システム A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築コース		専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 都市の安全を脅かす要因として地震などの自然災害による構造物・地盤の被害を取り上げ、それぞれの発生メカニズムがどのようなものであるかを理解すると共に、これらの災害による被害を最少限に食い止めるための方法論の基礎を学ぶ。自然災害として地震を取り上げ、発生や伝播のメカニズム、振動理論の基礎、耐震設計の考え方、防災計画などについて講義する。

[講義内容] 第 1 部：地震と地震災害（第 1 回：講義概要、地震被害の事例 第 2 回：地震の発生 第 3 回：地震と地震動 第 4 回：地震と地形・地盤）第 2 部：振動の理論（第 5 回：運動方程式 第 6 回：構造物のモデル化 第 7 回：1 質点系の振動（1） 第 8 回：中間テスト 第 9 回：1 質点系の振動（2） 第 10 回：1 質点系の振動（3） 第 11 回 多質点系の振動 第 12 回：地盤の振動と構造物の振動）第 3 部：耐震設計と地震防災（第 13 回 耐震設計 第 14 回：地震防災 第 15 回：期末テスト）

[履修条件] 力学や材料力学の知識を有することが望ましい。

[教科書・参考書] 理工図書：地震と建築防災工学（教科書）鹿島都市防災研究会編：大地震と都市災害（参考書）守屋喜久夫：新編地震災害と地盤・基礎（参考書）ほか

授業科目名 : 都市情報計画 II
 科目英訳名 : Urban Environment Produce II
 担当教官 : 柘植 喜治
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T276

開講時限等: 2 年後期木曜 6 限
 講義室 : 工 17 号棟 112 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境システム A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH1:情報画像 A 情報工学コース				専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 複合商業施設や市街地再開発における人びとの生活・活動を重視した都市環境の、ソフト面でのシステム構築手法を修得します。また、それを支える施設用途プログラム、業態開発、VMDなどクリエイティブワークの実際、さらに空間プロデュース、シーニックデザイン、や演劇、映画、テーマパーク、ミュージアム分野など領域を越えた横断的な領域の考察による情緒、感性や物語性を重視した都市環境のデザイン手法を研究します。

[講義内容] 都市情報と Space Communication、Between the Objects、Place Making と場の共有、Experiential Design、モノからコトのデザインに、市街地再開発、地域開発、商業施設開発の動向、Urban Cohesion と Critical Mass、コンテンツデザインと業態開発、Theming と Districting、産業構造の変化とエンターテイメントデザイン、環境計画とビジュアルマーチャライジング、Mixed use と Synergy、異分野（演劇、映画など）から学ぶこと、景観デザインとレイヤー、プロデューサーとコラボレーション体制、Sustainable Design と社会環境の変化

[履修条件] A コース学生も履修可能。原則として環境プランニングコースに属する学生の履修科目ですが、履修学生の人数に余裕がある場合には、メディアプランニングコースの学生も履修することができます。

授業科目名 : 都市環境共生 II
 科目英訳名 : Eco-compatible Engineering II
 担当教官 : 田中 恒雄
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T277

開講時限等: 2 年後期火曜 7 限
 講義室 : 工 17 号棟 213 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境システム A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TF4:デザイン A 建築コース		専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 多数の人間が集中して生活する場である都市は、同時に人々が経済活動、社会活動あるいは生産・消費活動を営む場でもある。こうした都市と言う場において人々が健康で快適に生きていくための必要条件や問題解決のための手段・方法を、自然環境との調和・共生を主眼に置いて、環境科学や環境工学技術の立場から考える。

[講義内容] 都市環境共生の基本概念からスタートし、これと関わりの深い都市環境の諸問題、すなわち都市環境と大気汚染、都市環境と水質、都市環境と産業廃棄物や、再利用のための産業廃棄物処理技術などについて解説する。つぎに都市を取り巻く大気、水質、および有害物質などの計測評価技術を解説し、環境影響評価の方法に対する理解を深める。また折に触れて先進国における都市環境対策や資源保護の問題についても取上げる。

[教科書・参考書] 特になし

授業科目名 : 環境プランニング演習 I
 科目英訳名 : Design and Planning of Urban Environment
 担当教官 : (松畑 強), (上條 美枝), 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T278

開講時限等: 2 年後期土曜 4 限
 講義室 : 未定 (工学部)

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 都市・環境・建築のデザイントレーニングを通じて、都市空間と建築を構想、企画し、計画を定め、総合的デザインにまとめあげていく方法を学ぶ。住民、企業、行政、コンサルタントなど、まちづくりに係わるさまざまな主体の相互関係をデザインし、ディレクション・コーディネートする方法についてもトレーニングを行う。

[講義内容] 課題内容によってデザインクラス、総合クラス、エンジニアリングクラスにわかれて演習をすすめる。

[履修条件] 都市環境基礎演習 I、II を履修していること。

授業科目名 : メディアプランニング演習 II
 科目英訳名 : Seminar for Media Planning II
 担当教官 : 大坪 泰文
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T279

開講時限等: 2 年後期水曜 7 限
 講義室 : 工 17 号棟 214 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] メディアプランニングコースの学習において必要となる、各学問分野の基礎的なトレーニングを行う。10人程度の小人数クラスに分かれて、演習・実験などを行う。

[講義内容] 演習は下記の4班に分かれ学習する。第1回目にガイダンスと班分けを行うので掲示などに充分注意すること。1) 情報通信演習(情報通信ネットワークについて概要を講義し演習を行う)2) 電磁気計測(電気、電子、電磁波に関する基礎実験およびコンピュータ実習を通して、これらの物理現象の把握、データ解析手法などを学ぶ)3) 熱流体演習(主として熱力学を基礎とする伝熱工学、熱流体力学に対する学習と演習を行う。熱伝導、熱伝達と対流現象、輻射伝熱など基礎的概念を身につける)4) 化学システムとしての循環系(都市における物質の変化とエネルギーの流れを化学システムとしてとらえ、それを理解するための物理化学の基礎について説明し、演習問題を行う)

[履修条件] メディアプランニング演習 I に同じ。

授業科目名 : メディアプランニング演習 II
 科目英訳名 : Seminar for Media Planning II
 担当教官 : 深澤 敦司
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード:

開講時限等: 後期水曜 7 限
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] メディアプランニングコースの学習において必要となる、各学問分野の基礎的なトレーニングを行う。10人程度の小人数クラスに分かれて、演習・実験などを行う。

[講義内容] 演習は下記の4班に分かれ学習する。第1回目にガイダンスと班分けを行うので掲示などに充分注意すること。1) 情報通信演習(情報通信ネットワークについて概要を講義し演習を行う)2) 電磁気計測(電気、電子、電磁波に関する基礎実験およびコンピュータ実習を通して、これらの物理現象の把握、データ解析手法などを学ぶ)3) 熱流体演習(主として熱力学を基礎とする伝熱工学、熱流体力学に対する学習と演習を行う。熱伝導、熱伝達と対流現象、輻射伝熱など基礎的概念を身につける)4) 化学システムとしての循環系(都市における物質の変化とエネルギーの流れを化学システムとしてとらえ、それを理解するための物理化学の基礎について説明し、演習問題を行う)

[履修条件] メディアプランニング演習 I に同じ。

授業科目名 : メディアプランニング演習 II
 科目英訳名 : Seminar for Media Planning II
 担当教官 : 前野 一夫
 単位数 : 2.0 単位

開講時限等: 後期水曜 7 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

履修登録コード:

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] メディアプランニングコースの学習において必要となる、各学問分野の基礎的なトレーニングを行う。10 人程度の小人数クラスに分かれて、演習・実験などを行う。

[講義内容] 演習は下記の 4 班に分かれ学習する。第 1 回目にガイダンスと班分けを行うので掲示などに充分注意すること。1) 情報通信演習(情報通信ネットワークについて概要を講義し演習を行う) 2) 電磁気計測(電気、電子、電磁波に関する基礎実験およびコンピュータ実習を通して、これらの物理現象の把握、データ解析手法などを学ぶ) 3) 熱流体演習(主として熱力学を基礎とする伝熱工学、熱流体力学に対する学習と演習を行う。熱伝導、熱伝達と対流現象、輻射伝熱など基礎的概念を身につける) 4) 化学システムとしての循環系(都市における物質の変化とエネルギーの流れを化学システムとしてとらえ、それを理解するための物理化学の基礎について説明し、演習問題を行う)

[履修条件] メディアプランニング演習 I に同じ。

授業科目名 : プロジェクト研究 II
 科目英訳名 : Project Study II
 担当教官 : 全教官
 単位数 : 2.0 単位

開講時限等: 2 年通期集中
 講義室 :

履修登録コード: T27A

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 「プロジェクト研究 I」に続いて、社会人学生が、社会生活の中で遭遇した各種の課題について、個人またはグループによる研究や討論を行う。

[講義内容]

授業科目名 : 建築計画
 科目英訳名 : Architectural Planning
 担当教官 : 柳澤 要
 単位数 : 2.0 単位

開講時限等: 3 年前期月曜 6 限 2 期
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

履修登録コード: T27B

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境システム A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 講義概要: 建築・都市環境の在り方を、人間の行動・生活の視点から捉えることが本講義のねらいである。

[講義内容] 講義のテーマとしては、環境・文化との調和、デザインと行動、プログラミングと評価、デザインプロセスなどを予定している。備考: 講義以外に、講義に関連する簡単な演習、討議を行う。

[履修条件] 都市居住計画を履修しておくこと

[教科書・参考書] 特になし

授業科目名 : 建築材料
 科目英訳名 : Building Materials
 担当教官 : 近藤 吾郎
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T27C

開講時限等: 3 年前期金曜 6 限
 講義室 : 工 17 号棟 215 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境システム A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 建築や土木構造物など社会基盤施設を構成する材料には、建設・供用・維持・廃棄といった各段階においてさまざまな性能が必要とされる。この講義では、主要な建設材料の特性と要求される性質とについて講述する。さらに、構造法や施工法と関連させながら、この材料性能を実現するための性能設計方法や資源・エネルギーの有効利用した材料生産方法についても学ぶ。

[講義内容] 最近の建築材料は極めて多岐にわたるが、その中で建築構造物の主要な構造材料であるコンクリート、鉄鋼、木材を取り上げ、主として材料の使用者の立場から材料の選択や建築施工の際に必要な知識を後述する。

[履修条件] 材料実験と同時に履修することが望ましい。

[教科書・参考書] 教科書・参考書は、講義の中で紹介する。

授業科目名 : 建築一般構造
 科目英訳名 : Structural Engineering
 担当教官 : (清水 敬三)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T27D

開講時限等: 3 年前期水曜 7 限
 講義室 : 工 17 号棟 215 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境システム A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TF4:デザイン A 建築コース		専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 都市空間を構成する構造物の役割について適切な理解と実行力が得られるよう、構造に関する枠組みの基本および重要事項を取り上げ、在来のコンセプトでは明記・定義されにくい分野も含めて、最新の知識や情報を伝達する。いわゆる構造分野に限定せず、建築業界全体に着目した学界、業界、官界の各分野の包括的な理解に留意する。

[講義内容] 1) 何故構造を学か? 2) 都市計画者、建築家、エンジニアの役割と社会的使命、何故デザイナーが必要か? 社会のトータルデザインとは? 3) 建築の社会での構造の役割と実践 4) 構造設計を支える関連技術論 5) 防災と構造 6) 環境問題と構造 7) コンストラクションマネジメントと構造 8) リスクマネジメントと構造 9) 新しい建築基準法と構造 10) 建築構造分野トピックス 以上の話題を 15 回に分けて教授する。

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 特になし

授業科目名 : 都市計画マネジメント I
 科目英訳名 : City Planning Management I
 担当教官 : (林 泰義)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T27E

開講時限等: 3 年前期月曜 7 限 1 期
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 「市民の視点からのまちづくり」を実践する方法を考える。内容は以下の 4 点からなっている。1:市民と共にまちを考える条件づくり。2:共に考える方法の学習 3:市民まちづくりに関連する都市計画法など諸制度及び行政組織などの学習 4:市民まちづくりを担う諸主体(住民組織、NPO など)の形成と連携の方法。実践的学習を重視し、まちづくりの現場での住民との共同作業を含む過程を設ける。

[講義内容]

[履修条件] 大学外のまちづくり現場での授業がある。

[教科書・参考書] 学期の冒頭に、参考書リストを配布する。

授業科目名 : 建築材料実験
 科目英訳名 : Experiments of Structural Materials
 担当教官 : (岡本 晴彦)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T27F, T280

開講時限等: 3 年前期火曜 6,7 限
 講義室 : 工 17 号棟 114 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境システム A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 建築や土木構造物など社会基盤施設を構成する材料には、建設・供用・維持・廃棄といった各段階においてさまざまな性能が必要とされる。ここでは、主要な構造材料の力学的な特性(強度、弾性、塑性、粘性など)を、実験を通して体験的に学ぶ。

[講義内容] 鉄鋼やコンクリートなどの建築構造材料の性質を明らかにするために行われる J I S などに標準化されている試験方法を学ぶとともに、これらの材料から構成される構造物の挙動と材料の性質との関係を理解するために構造実験を行う。

[履修条件] 構造力学や材料力学に関する基礎的な知識を有していること。

[教科書・参考書] 構造材料実験法 < 第 2 版 > 谷川ほか著 森北出版

授業科目名 : 情報システム II
 科目英訳名 : Information Systems II
 担当教官 : 深澤 敦司
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T281

開講時限等: 3 年前期木曜 6 限
 講義室 : 工 17 号棟 113 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境システム A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的]

[講義内容]

授業科目名 : 信頼性システム設計 II
 科目英訳名 : Reliability Engineering & Reliability-Based Systems Design II
 担当教官 : 町田 進
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T282

開講時限等: 3 年前期木曜 7 限
 講義室 : 工 17 号棟 214 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度 1997 年
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TE:都市環境システム A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TA:機械 B	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		

[講義目的] 「信頼性システム設計 I」に引続いて、機器・構造物・システムの信頼性と安全性確保を図るためのシステム設計の実際的手法について講義と演習を行う。

[講義内容] 主なトピックスとしては、FMEA(破損モード・影響解析)、FTA(破損経路解析)、信頼性設計法・安全率の決め方、故障解析、信頼性試験、信頼性管理、などである。

[履修条件] 「信頼性システム設計 I」、「統計 B」を履修していることが望ましい。

[教科書・参考書] 改定版「信頼性工学入門」真壁肇 編 (日本規格協会)

[備考] Excel を用いて、例題を取り扱う。

授業科目名 : 都市環境エネルギー論 I
 科目英訳名 : Urban Environment Energetics I
 担当教官 : 前野 一夫
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T283

開講時限等: 3 年前期水曜 7 限
 講義室 : 工 17 号棟 112 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度 1997 年
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TA:機械 B	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		

[講義目的] エネルギーに関する工学的な基礎事項と、その都市環境における諸問題について理解を深めることが、この講義の目的である。まず、エネルギーと環境の問題についての展望を示し、流体と熱の流れに関する基礎と応用について考察する。

[講義内容] 1. エネルギーとは? 2. 流れと流体、静止した流体の諸特性 3. 流体の流れを支配する 基礎法則 4. 管の中の流れと管路システム 5. 川の流れ、地下水の流れ、水波 6. 地球大気の動き、気象 7. 流れから受ける力、抗力と揚力、推進力 8. 熱の流れを支配する基礎法則 9. 固体内の熱の流れ - 熱伝導 10. 固体壁と流体間の熱の流れ - 熱伝達 11. 流体の移動に伴う熱の流れ - 自然対流 12. 流体の移動に伴う熱の流れ - 強制対流 13. 電磁波による伝熱 - 熱放射 *途中試験を行う

授業科目名 : 通信環境システム I
 科目英訳名 : Communication Environment Systems I
 担当教官 : 伊藤 公一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T284
 開講時限等: 3 年前期金曜 6 限
 講義室 : 工 17 号棟 113 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
T.J1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
T.J2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 移動通信や情報ネットワーク等の急速な発達により、都市を取り巻く通信環境・電磁環境はダイナミックに変化し、複雑化している。本講義では、主に無線、すなわち電波を用いた通信環境システムの基礎を講義する。具体的には、都市における電波環境、無線通信の基礎である電波の発生、伝送および受信、そして我々の身のまわりにある無線通信システムの特色、問題点、および将来について講義する。

[講義内容] [1] イントロダクション (講義の主旨, 進め方, 成績評価方法など) [2] 電波応用の種類 (情報伝送, 探査・観測, エネルギー利用) [3] 電波応用の具体例と問題点 (携帯電話 / PHS, BS, カーナビ, 無線 LAN, 電子レンジなど) [4] 電波の発生・放射 (電波の性質, 発生・放射) [5] 質問・ディスカッション・演習 [6] ~ [8] 電波の伝搬・伝送 / 受信 (アンテナの種類・特性, 電波の伝搬, 受信) [9] 情報伝送の基本技術 (変調, 放送など) [10] 質問・ディスカッション・演習 [11] 移動通信 (特徴, 技術など) [12] 移動通信 (代表的システム) [13] 電磁環境 [14] 将来動向 / まとめ / 質問 [15] 試験

[履修条件] 物理学 CI 電磁気学入門 1、物理学 CII 電磁気学入門 2 を履修していることが望ましい。

授業科目名 : 環境プランニング演習 II
 科目英訳名 : Design and Planning of Urban Environment II
 担当教官 : (中谷 正人)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T285
 開講時限等: 3 年前期土曜 3 限
 講義室 : 未定 (工学部)

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
T.J1:都市環境システム B 環境プランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
T.J2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 都市環境プランニング演習 にひきつづき、一定の規模のある建築・都市のデザインあるいはエンジニアリングについて構想, 企画し, 計画を定め総合的にまとめあげるトレーニングを行う。計画に先立つ調査や分析, プレゼンテーションの方法, 共同でプロジェクトを進めることもあわせて学習する。

[講義内容] 課題内容によってデザインクラス、総合クラス、エンジニアリングクラスにわかれて演習をすすめる。

授業科目名 : メディアプランニング演習 III
 科目英訳名 : Seminar for Media Planning III
 担当教官 : 大坪 泰文
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T286
 開講時限等: 3 年前期土曜 3 限
 講義室 : 工 17 号棟 214 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
T.J1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
T.J2:都市環境システム B メディアプランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 都市環境システムの「流れ」の基本となる専門科目に関して、10 人程度の少人数に別れてフィールドワークや実験を行う。各実験を通して、テーマの把握と実験の目的、実験装置や方法、実験データや結果の整理方法、考察等のまとめ方、報告書 (実験レポート) の書き方などを学習し、現代都市環境の諸問題に関連した専門的知識を深める。

[講義内容] 各班は以下の 7 テーマより 4 テーマをメニューにて選択し受講する。1) 水質計測実験、2) 環境微生物実験、3) 電磁気基礎実験、4) 風況データ収集と風力開発システム設計、5) 騒音計測実験、6) 流体計測、7) 熱流体計測実験。なお、各テーマによって、時間がかかる場合は 2-3 コマの集中講義形式の時間配分となる可能性がある。授業開始前のガイダンスに必ず出席すること。

授業科目名 : 都市環境システム特別セミナー I
 科目英訳名 : Special Seminar in Urban Environment Systems I
 担当教官 : 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T287

開講時限等: 3 年前期集中
 講義室 : 工 17 号棟 213 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
T.J1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
T.J2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 概要: 都市環境システムの学習を進める上で、重要と思われるトピックスについて実務として活躍している学外講師による入門・解説・応用の講座である。今年度は、ISO 14000 シリーズ(環境管理システム, 環境監査, 環境ラベル, 環境パフォーマンス, 環境影響評価, 用語と定義)と環境調和型設計(解体性, リサイクル性)についての講義と LCA ツールによる実習を行う。[履修条件] なし

[講義内容]

授業科目名 : 都市環境システム実習
 科目英訳名 : Practice in Urban Environment Systems
 担当教官 : 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T288

開講時限等: 3 年通期集中
 講義室 :

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
T.J1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
T.J2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 都市環境の形成にかかわる実社会の現場において一定期間(2週間以上)実習を経験し、その知見から得た方法について報告書を作成し発表を行う。

[講義内容]

授業科目名 : プロジェクト研究 III
 科目英訳名 : Project Study III
 担当教官 : 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T289

開講時限等: 3 年通期集中
 講義室 :

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
T.J1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
T.J2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的]**[講義内容]**

授業科目名 : 構造力学
 科目英訳名 : Structural Mechanics
 担当教官 : (市原 嗣久)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T28A

開講時限等: 2年前期木曜 6 限
 講義室 : 工 17号棟 213 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001年	2000年	1999年	1998年
TE:都市環境システムA	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 都市を構成する構造物には、それ自身の重量、積載される重量、地震や風による荷重などのさまざまな外力が作用する。これらの外力に対して安全な構造物を作るための力学の基礎について学習する。

[講義内容]

授業科目名 : 構造力学
 科目英訳名 : Structural Mechanics
 担当教官 : 上杉 英樹
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C2

開講時限等: 2年前期土曜 1 限
 講義室 : 工 17号棟 212 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001年	2000年	1999年	1998年
TE:都市環境システムA	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 都市を構成する構造物には、それ自身の重量、積載される重量、地震や風による荷重などのさまざまな外力が作用する。これらの外力に対して安全な構造物を作るための力学の基礎について学習する。

[講義内容]

授業科目名 : 建築施工
 科目英訳名 : Building-Construction Practice
 担当教官 : (岩崎 由之)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T28B

開講時限等: 3年後期火曜 6 限
 講義室 : 工 17号棟 211 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001年	2000年	1999年	1998年
TE:都市環境システムA	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 今日、建築生産、特に建築施工の状況は著しく変貌している。ここでは、施工管理の要点についての講義を中心にしながら建築施工に関する基礎を学ぶ。

[講義内容] 建築は複雑多岐にわたる各種工事を経て完成するものである。このような工事を手順よく行うためには建築施工に関する知識が必須である。本講義では、杭、山留め、鉄骨、鉄筋コンクリート工事など躯体工事と防水、建具タイル工事など内外装の仕上げ工事の標準的な作業手順と要点をわかりやすく解説する。

[教科書・参考書] イラストによる建築施工実務入門 彰国社

授業科目名 : 建築法規・行政
 科目英訳名 : Architectural Regulation and Administration
 担当教官 : (松柴 慎吾)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T28C

開講時限等: 3年後期火曜7限
 講義室 : 工9号棟107教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001年	2000年	1999年	1998年
TE:都市環境システムA	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] わが国における建築活動(計画・施工等)は、すべて法律を規範として営まれており、建築基準法は、構造・防火・避難・衛生等に関する技術基準(単体規定)、集団としての秩序を維持するための用途・密度・形態等に関する基準(集団規定)を規定し、これらの実効性を確保するための制度・行政機関・手続き等についても規定している。この講義は主に建築基準法を学びながら、行政実例等を織り混ぜ、建築技師として最低限の法律知識を知り、社会の変化に対応できる人材を養成しようとするものである。

[講義内容] 第1回 建築行為と法律。法令の構成。建築行政とは何か 第2回 建築基準法の目的。建築法規を学ぶための基礎事項 第3回 建築に関する手続き他 第4回 単体規定1 一般構造 第5回 単体規定2 構造関係規定 第6回 単体規定3 構造耐力・新耐震・(性能規定を含む) 第7回 単体規定4 防火と避難その1・(消防法を含む) 第8回 単体規定5 防火と避難その2・(性能規定を含む) 第9回 単体規定6 防火と避難その3 第10回 集団規定1 都市計画、開発許可。用途地域と建築制限 第11回 集団規定2 形態制限その1 道路と敷地。建ぺい率・容積率 第12回 集団規定3 形態制限その2 高さ制限・各種斜線制限他 第13回 集団規定4 日影規制、防火等の規制。課題提示 夢 14回 集団規定5 良好な環境の市街地をつくりだす各種の手法他。レポート等提出

授業科目名 : 都市計画マネジメントII
 科目英訳名 : City Planning Management II
 担当教官 : 宮脇 勝
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T28D

開講時限等: 3年後期金曜7限
 講義室 : 工17号棟213教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001年	2000年	1999年	1998年
TE:都市環境システムA	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH1:情報画像A 情報工学コース				専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 都市計画の諸制度の学習と都市全体の基本計画について学習する。現代社会背景として、1:都市開発と環境保全の間にある諸問題、2:歴史保全と現代化の間にある諸問題、3:都市デザインの実施のための諸問題、4:中心市街地の衰退と沿道の郊外型開発の問題、5:公共建築の再生による都心改造について理解する。

[講義内容] 1. ガイダンス、2. 都市計画法体系、建築基準法における形態規制と集団規定の特徴、3. 国土計画、都市マスタープランと市民参加(1)、4. 都市マスタープランと市民参加(2)、5. 部門別マスタープラン分類、6. 都市デザインと都市景観計画(1)、7. 都市デザインと都市環境計画(2)、8. 都市環境計画、9. 地区計画制度(1)、10. 地区計画制度(2)、11. 中心市街地の整備、12. 伝建地区制度(1)、13. 伝建地区制度(2)、14. 公共建築の再利用と都心再生、15. 予備

[教科書・参考書] 参考図書: 都市計画教科書第2版、都市計画教育研究会編、彰国社、1998

[備考] 特に、環境プランニング演習IとIIIに関連しており、平行受講を推奨する。

授業科目名 : コミュニティエンジニアリング II
 科目英訳名 :
 担当教官 : (小宮 一仁)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C7

開講時限等: 3年後期土曜 4 限
 講義室 :

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001年	2000年	1999年	1998年
TE:都市環境システムA	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的]

[講義内容]

授業科目名 : 都市環境エネルギー論 II
 科目英訳名 : Urban Environment Energetics II
 担当教官 : 前野 一夫
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T28E

開講時限等: 3年後期水曜 6 限
 講義室 : 工 17号棟 214 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度	
	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年
TE:都市環境システムA	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TA:機械B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			

[講義目的] 都市環境を成立させているエネルギーの生産と消費に関連して、エネルギーの効率的生産・変換・消費・再利用などの工学的諸問題と、その基礎となる熱流体力学、エネルギー変換、燃焼現象、熱交換などについて、基礎となる理論を具体的応用例に基づき説明する。

[講義内容] 1) 人類とエネルギー消費について、2) エネルギーシステムとエネルギー資源、3) エネルギーの種類とその特性(輸送現象について)、4) エネルギー変換の熱流体力学、5) エネルギー変換の分類とシステム、6) 燃焼の基礎、7) 燃焼現象とその応用、8) 熱機関(内燃機関・外燃機関)、9) 燃焼以外の方法による熱発生(原子力の利用など)、10) 空気調和工学の基礎(湿り空気について)、11) 空気調和工学の基礎(熱交換・空気調和負荷など)、12) 空気調和方式の実際(ヒートポンプ・冷却塔など)、13) 暖房・冷房方式の工学、14) 冷凍工学と極低温、15) 冷却媒体とその利用、全体のまとめ

[教科書・参考書] 当面、プリントを主体に講義を進める。

授業科目名 : 通信環境システム II
 科目英訳名 : Communication Environment Systems II
 担当教官 : 吉村 博幸
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T28F

開講時限等: 3年後期金曜 6 限
 講義室 : 工 17号棟 113 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001年	2000年	1999年	1998年
TE:都市環境システムA	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 都市に住む我々にとって最適な通信環境を構築するために考慮しなければならないハード的要素を、特に有線通信の観点から多角的に考える素地を身につけてもらうことが、この講義の目的である。具体的には、有線通信の基礎である分布定数回路および伝送線路、そして我々の身のまわりにある有線通信システムの特色、問題点、および将来あるべき姿について講義する。

[講義内容] [1] 導入 [2] ベクトル解析(内積、外積、勾配) [3] ベクトル解析(発散、回転) [4] 電磁気(静電界、磁界、電流) [5] 電磁気(マクスウエルの方程式) [6] 電磁波(波動方程式) [7] 電磁波(平面波、球面波) [8] 分布定数回路(L、C、R) [9] 分布定数回路(平行2線線路) [10] 分布定数回路(線路の性質) [11] 導波路(導波路の電磁界、同軸線路) [12] 導波路(平面線路) [13] 導波路(光ファイバ) [14] 光ファイバ通信 [15] 試験

[履修条件] 物理学 CI 電磁気学入門1、物理学 CII 電磁気学入門2、および通信環境システム I を履修していることが望ましい。

授業科目名 : 環境基礎解析 I
 科目英訳名 : Environment Mathematics I
 担当教官 : 河原田 秀夫
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T290

開講時限等: 3 年後期木曜 7 限
 講義室 : 工 5 号棟 204 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 都市環境に現れる諸現象を数理的にとらえるための基礎的資質を養うことを目的に講義する。この講義では、現象を数理的に記述するためのモデリングとその解析方法及び統計的手法について基本的な例を通して考察する。

[講義内容] 次の 4 つのテーマについて講義する。1. データに基づく大気中のばい煙の拡散について考察 2. 現象のモデリングとその数理的考察 3. 数理モデルの解析と数式処理ソフト利用による考察 4. 拡散方程式のプログラミングと可視化

[履修条件] 「微分方程式」、「フーリエ解析」、「統計学」を受講していることが望ましい。

授業科目名 : 生産再生設計論 I
 科目英訳名 : Recycle Engineering 1
 担当教官 : 大坪 泰文
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T291

開講時限等: 3 年後期木曜 6 限
 講義室 : 工 17 号棟 215 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 都市における物質の流れを化学システムとして捕らえ、それを理解するための基礎科学について学ぶ。マテリアルフローという観点から、物質の化学変化、状態変化、移動現象を熱力学と速度論に基づいて修得する。

[講義内容] 第 1 回 概論：化学システムとしての地球環境 第 2 回 保存則：化学反応における物質の変化と不変性 第 3 回 熱力学第 1 法則 第 4 回 熱力学第 2 法則 第 5 回 物質の状態、相変化、相図 第 6 回 液体、溶液、コロイド 第 7 回 化学結合、電気化学、イオン第 8 回 力学、運動量移動、流動 第 9 回 物質移動、拡散と分子運動 第 10 回 エネルギー移動、熱伝導 第 11 回 乾燥、蒸発、吸収、吸着 第 12 回 抽出、分離、粉碎、ろ過 第 13 回 化学反応速度論、溶液反応、固相反応 第 14 回 プロセス制御、最適化 第 15 回 試験

授業科目名 : 環境プランニング演習 III
 科目英訳名 : Design and Planning of Urban Environment III
 担当教官 : (中村 研一)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T292

開講時限等: 3 年後期土曜 2 限
 講義室 : 未定 (工学部)

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 都市環境プランニング演習 にひきつづき、プログラムのより複雑で高度な建築・都市のデザインあるいはエンジニアリングについて構想、企画し、計画を定め総合的にまとめあげるトレーニングを行う。計画に先立つ調査や分析、プレゼンテーションの方法、共同でプロジェクトを進めることもあわせて学習する。

[講義内容] 課題内容によってデザインクラス、総合クラス、エンジニアリングクラスにわかれて演習をすすめる。

授業科目名 : メディアプランニング演習 IV
 科目英訳名 : Seminar for Media Planning IV
 担当教官 : (小川 晃一)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T293

開講時限等: 3 年後期土曜 1 限
 講義室 : 工 17 号棟 214 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 総合的なシステム設計 (2 クラス) 演習を予定する。1) 情報通信システム設計、2) エネルギーシステム設計。

[講義内容] 1) 情報通信システム設計 (都市における情報通信システムの設計) のテーマで 2 班に別れて講義と演習を進める。2) エネルギーシステム設計は、A) 化学プロセスの分解、解析、合成のテーマ班と、B) 省エネルギー手法とその効果算出のテーマ班の 2 班に分かれて講義と演習を進める。各テーマ班によって土曜日集中講義形式、あるいは通常日の 7 または 6, 7 時限を用いて講義と演習を行う。授業開始時のガイダンスは必ず出席すること。

授業科目名 : メディアプランニング演習 IV
 科目英訳名 : Seminar for Media Planning IV
 担当教官 : (小川 晃一)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C8

開講時限等: 後期土曜 4 限
 講義室 :

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 総合的なシステム設計 (2 クラス) 演習を予定する。1) 情報通信システム設計、2) エネルギーシステム設計。

[講義内容] 1) 情報通信システム設計 (都市における情報通信システムの設計) のテーマで 2 班に別れて講義と演習を進める。2) エネルギーシステム設計は、A) 化学プロセスの分解、解析、合成のテーマ班と、B) 省エネルギー手法とその効果算出のテーマ班の 2 班に分かれて講義と演習を進める。各テーマ班によって土曜日集中講義形式、あるいは通常日の 7 または 6, 7 時限を用いて講義と演習を行う。授業開始時のガイダンスは必ず出席すること。

授業科目名 : メディアプランニング演習 IV
 科目英訳名 : Seminar for Media Planning IV
 担当教官 : (塩島 壯夫)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C9

開講時限等: 後期木曜 5 限
 講義室 :

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 総合的なシステム設計 (2 クラス) 演習を予定する。1) 情報通信システム設計、2) エネルギーシステム設計。

[講義内容] 1) 情報通信システム設計 (都市における情報通信システムの設計) のテーマで 2 班に別れて講義と演習を進める。2) エネルギーシステム設計は、A) 化学プロセスの分解、解析、合成のテーマ班と、B) 省エネルギー手法とその効果算出のテーマ班の 2 班に分かれて講義と演習を進める。各テーマ班によって土曜日集中講義形式、あるいは通常日の 7 または 6, 7 時限を用いて講義と演習を行う。授業開始時のガイダンスは必ず出席すること。

授業科目名 : メディアプランニング演習 IV
 科目英訳名 : Seminar for Media Planning IV
 担当教官 : (神谷 清)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2CA
 開講時限等: 後期月曜 7 限
 講義室 :

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001年	2000年	1999年	1998年
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 総合的なシステム設計(2クラス)演習を予定する。1)情報通信システム設計、2)エネルギーシステム設計。

[講義内容] 1)情報通信システム設計(都市における情報通信システムの設計)のテーマで2班に別れて講義と演習を進める。2)エネルギーシステム設計は、A)化学プロセスの分解、解析、合成のテーマ班と、B)省エネルギー手法とその効果算出のテーマ班の2班に分かれて講義と演習を進める。各テーマ班によって土曜日集中講義形式、あるいは通常日の7または6,7時限を用いて講義と演習を行う。授業開始時のガイダンスは必ず出席すること。

授業科目名 : 建築設備
 科目英訳名 : Architectural Equipments
 担当教官 : (石渡 博)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T294, T2BC
 開講時限等: 4年前期金曜 6,7 限隔週 1,3
 講義室 : 工9号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001年	2000年	1999年	1998年
TE:都市環境システムA	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 建築・都市と建築設備の関わりを理解し、快適で安全な建築環境を創り出す建築設備の考え方とその計画法を習得することを目的とする。

[講義内容]

授業科目名 : 環境工学
 科目英訳名 : Environmental Science
 担当教官 : (足永 康信)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T295, T2BD
 開講時限等: 4年前期金曜 6,7 限隔週 2,4
 講義室 : 工9号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001年	2000年	1999年	1998年
TE:都市環境システムA	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 建築物の内外における熱・湿気環境および空気環境の基礎と適切な熱・空気環境の形成に必要な建築技術を解説する。併せて、地球環境・水環境の問題も学習する。課題の本質を理解し、批判力や創造力を育成することに重きを置く。

[講義内容]

授業科目名 : 建築経済
 科目英訳名 : Building cost planning
 担当教官 : (大木 昌彦)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T296

開講時限等: 4 年前期月曜 7 限 2 期
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境システムA	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 古今東西を問わず資本主義社会ではもちろん独裁主義、社会主義の体制に於いてもインフラ整備や建設資金等にかける各費用には限度がありその配分はその事業の種類、目的によって大きく変わって来ると共にその事業の成否を大きく左右する。本講座はその事業（プロジェクト）の動機の発生 企画 設計 積算（見積） 施工 運用管理 廃棄及びそれにとともなう資金の調達、運用管理も含め各プロセスでの確な精度とスピードでコストを管理する手法を主に、背景となる以下の3つの分野から解説する。1) 経済系：経営、長期的経済性、産業、資材、労働、価格、原価、経済モデル等 2) 社会系：法律、制度、政策等 3) 人間系：安全性、快適性、利便性、人間性等

[講義内容] 1) 日本経済の中での建設投資と建設業の現状 2) 建設業の国際比較、日本の建設会社のプロフィール 3) 建築物の劣化と耐用年数、建築保全と維持管理、4) 減価償却について 5) フィージビリティとコストプランニング（企画段階での巨視的なコスト判断）と事業性の判定（資金調達から回収、廃棄のプロセスまで） 6) 入札、契約方式の種類とその長所、短所（公共工事の発注方式の現状と将来） 7) 仮設工事費と経費（建設業会計上と積算価格上での） 8) 作業所に於けるコスト管理（実施予算作成から日常の試算管理の手法） 9) 経済性全般（VE:価値工学、FM:施設管理、LCC:生涯費用） 10) 民間の活力を利用した社会資本の整備（日本版PFI）や今後の展望（建築 CALS 等）

[教科書・参考書] これだけは知っておきたい「コストプランニングの知識」 高橋 照男著 鹿島出版会

授業科目名 : システム評価
 科目英訳名 : Systems evaluation
 担当教官 : 塩田 茂雄
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T297

開講時限等: 3 年後期月曜 7 限
 講義室 : 工 17 号棟 214 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システムB 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システムB メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] システムには、社会システム、人間・機械システム、工業システム、人工・自然システム、生体システムなどの巨大システムから、電子システム、機械システム、細胞システムなど微細・詳細システムに及びなど様々なシステムが考えられる。共通的な部分をシステム工学的な観点から概観し、次に、都市情報ネットワークシステムなど具体的なシステムを取り上げ、システム解析、システム最適化の手法を学び、さらにその評価手法について学ぶ。

[講義内容]

[備考] 英文名称: Systems evaluation 担当教官: 塩田茂雄

授業科目名 : 生産再生設計論 II
 科目英訳名 : Recycle Engineering II
 担当教官 : 大坪 泰文
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T298

開講時限等: 4 年前期水曜 7 限
 講義室 : 工 5 号棟 204 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境システム A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 都市循環系あるいは地球規模で物質の流れをみた場合、人間の活動に有効となる価値を備えた資源、材料としての流れと環境負荷となるゴミ、汚染物質としての流れに分けられる。材料の再資源化、再利用化という観点から都市における物質の流れについて修得する。

[講義内容] 第 1 回リサイクル工学とは、第 2 回 枯渇問題と新エネルギー開発、第 3 回 製品の流れとゴミの流れ、第 4 回 ダイオキシン、フロン、酸性雨、第 5 回 地球温暖化、ヒートアイランド、第 6 回 金属のリサイクル、第 7 回 ガラス、ビンのリサイクル、第 8 回 生物由来廃棄物および紙のリサイクル、第 9 回 プラスチックのリサイクル、第 10 回 燃焼工学、発電、エネルギー変換第 11 回 微生物処理、第 12 回 酸、アルカリ、有害物質処理、第 13 回 排水処理と排煙処理、第 14 回 産業、ビジネスにおけるリサイクル工学第 15 回 試験

授業科目名 : 都市環境マネジメント I
 科目英訳名 : Urban Environment Management I
 担当教官 : (田宮 稔士)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T299

開講時限等: 4 年前期木曜 7 限
 講義室 : 工 5 号棟 204 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築コース			専門選択 (F30)	
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的]

[講義内容] 21 世紀は「環境の世紀」と言われている。人類社会が健全に地球上に存続することが出来るための選択とは一体何だろうかを、都市空間における市民・企業人・各種団体人の立場で考察する。具体的には、持続可能な開発・ISO-14001 を中心とした環境マネージメントシステム・環境アセスメント・廃棄物問題等について講義並びに学生中心の討議と演習をする。

[教科書・参考書] 1. 「環境の世紀」実現に向けて、2. 持続可能な産業システムへの挑戦、3. 環境マネージメントシステム導入の目的、4. 環境マネージメントシステムとは何か? 5. 初期環境レビュー、6. 環境方針の定義、7. 環境アクションプランの開発、8. 環境責任の定義、9. 環境マネージメントシステムの監査、10. 外部とのコミュニケーション、11. 発電所建設に係わる環境アセスメント、12. ダイオキシン問題、13. 廃棄物処理施設、14,15. 討議と演習用の予備

[備考] 特になし

授業科目名 : 都市環境システム特別セミナー II
 科目英訳名 :
 担当教官 : 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T29A

開講時限等: 4 年前期集中
 講義室 :

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度 1997 年
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T9:建築 B	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		

[講義目的]

[講義内容]

授業科目名 : 特別研究
 科目英訳名 :
 担当教官 : 全教官
 単位数 : 6.0 単位
 履修登録コード: T29B

開講時限等: 4 年通期集中
 講義室 :

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的]

[講義内容]

授業科目名 : 地域環境デザイン
 科目英訳名 : Regional Environment Design
 担当教官 : 三国 政勝
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T29C

開講時限等: 3 年前期金曜 7 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境システム A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 近代科学の方法は、細かく分割された対象のそれぞれの枠の中での精緻な分析が中心になっているが、まちづくり、むらづくりなどの取り組みにおいては、環境を総合的に捉え、新しいものを生み出すための方法が必要になる。その第一歩は、狭い専門領域に止まることなく、人間や社会に対する幅広い問題意識を持つことである。既に確立している学問知識の獲得よりも、問題の発見とその解決に向かって創意工夫する力を伸ばしたい。

[講義内容] 第 1 回 環境とは何か 認識と存在の哲学的考察 第 2 回 住居と生活の歴史的変遷 第 3 回 農村集落の空間特性 第 4 回 地域環境における共同性 第 5 回 土地利用計画における制度 第 6 回 集落地域整備の方法 第 7 回 農業・食料・農村をめぐる諸問題 第 8 回 漁村集落の空間構造 第 9 回 高齢者・障害者の住宅改善 第 10 回 バリアフリーのまちづくり 第 11 回 家族・地域の福祉と環境 第 12 回 計画学の方法 集会所の研究を通して 第 13 回 まちづくり・むらづくりの事例 第 14 回 千葉県の環境問題 第 15 回 まとめ

[備考] 上記の予定は、内容、順序を一部変更する可能性がある。

授業科目名 : 都市建築デザイン
 科目英訳名 : Urban Architectural Design
 担当教官 : 宇野 求
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T29D

開講時限等: 3 年前期木曜 6 限
 講義室 : 工 17 号棟 211 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境システム A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築コース		専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 現代建築および現代都市のデザインについて、古今東西の事例を具体的にとりあげながら紹介し、そのクリティカルなテーマおよび手法の基本的な考え方についてレクチャーを行っていく。

[講義内容] 第 1 回 イントロダクション / 建築と都市 第 2 回 建築と都市の型 / 形式、様式、装飾 第 3 回 素材 / 自然要素 (光・風・水)、装置 (家具と機械) 第 4 回 次元 / 空間の役割 (機能) 第 5 回 変わる部分と変わらない部分 / プライベートとパブリック 第 6 回 情報の空間 第 7 回 現代生活の型と建築 第 8 回 規模の計画 第 9 回 新しい施設の型 第 10 回 地域空間における建築の計画とデザイン 第 11 回 建築群のデザイン 第 12 回 情報社会における空間機能 第 13 回 ガラス建築 / 自動車と建築 第 14 回 自然と人工物 / 物質と光 第 15 回 まとめ

[教科書・参考書] 適宜、紹介していきます。

[備考] 講義計画の内容を具体的な建築と都市のスライドでかい説していく予定です。順番や内容など変更する可能性があります。

授業科目名 : コミュニティエンジニアリング II
 科目英訳名 :
 担当教官 : (小宮 一仁)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C7

開講時限等: 3 年後期土曜 4 限
 講義室 :

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境システム A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ1:都市環境システム B 環境プランニング	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ2:都市環境システム B メディアプランニング	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的]

[講義内容]